

# 今夏の電力需給状況について

2014年8月27日  
北海道電力株式会社

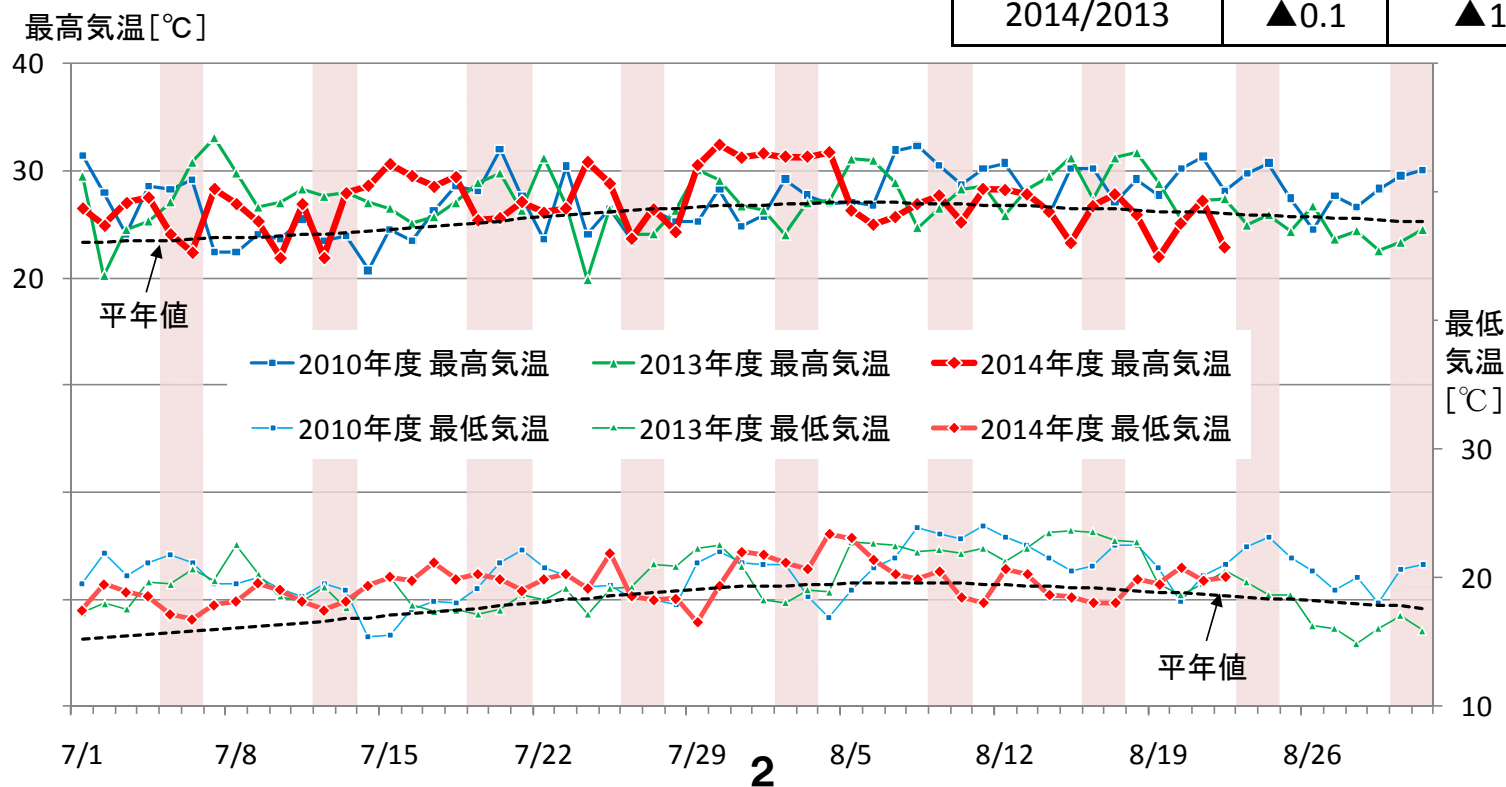
## 1. はじめに

- ・今夏、お客さまに節電をお願いしている期間（7月1日から9月30日）の半ばが過ぎました。お客さまには、節電にご協力いただき厚く御礼申し上げます。
- ・今夏における、これまでの需給状況の実績（8月22日現在）についてお知らせいたします。
- ・これまでの最大電力は459万kWと、昨夏の最大電力450万kWを上回り、電力需要が昨年と比較して増加しております。
- ・一方、火力発電設備については、これまで大きなトラブルは発生していないものの、計画外停止や計画外出力抑制が複数の発電所で発生している状況です。
- ・これまでのところ、安定供給に最低限必要な3%の供給予備率は確保できている状況ですが、気象庁から8月25日に発表された9月から11月の3ヵ月予報によりますと、気温は平年並みか高くなる見込みであることから、電力需要が高くなる可能性があります。
- ・また、2012年度には残暑により9月に夏季最大電力が発生している実績もあり、発電設備や北本連系設備の計画外停止リスクもあることから、今後も電力需給は予断を許さない状況が続きます。
- ・お客さまにおかれましては、引き続き無理のない範囲での節電への取り組みにつきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 2. これまでの気温状況

- 7月1日から8月22日までの期間について、猛暑であった2010年度と比較すると、7月は1.2℃高く、8月は2.1℃低くなっています。
- また、2013年度と比較すると7月は0.1℃、8月は1.0℃低くなっています。

年度	日最高気温の平均 [°C]	
	7月	8月 (8/22まで)
2010	25.8	29.1
2013	27.1	28.0
2014	27.0	27.0
2014/2010	+1.2	▲2.1
2014/2013	▲0.1	▲1.0

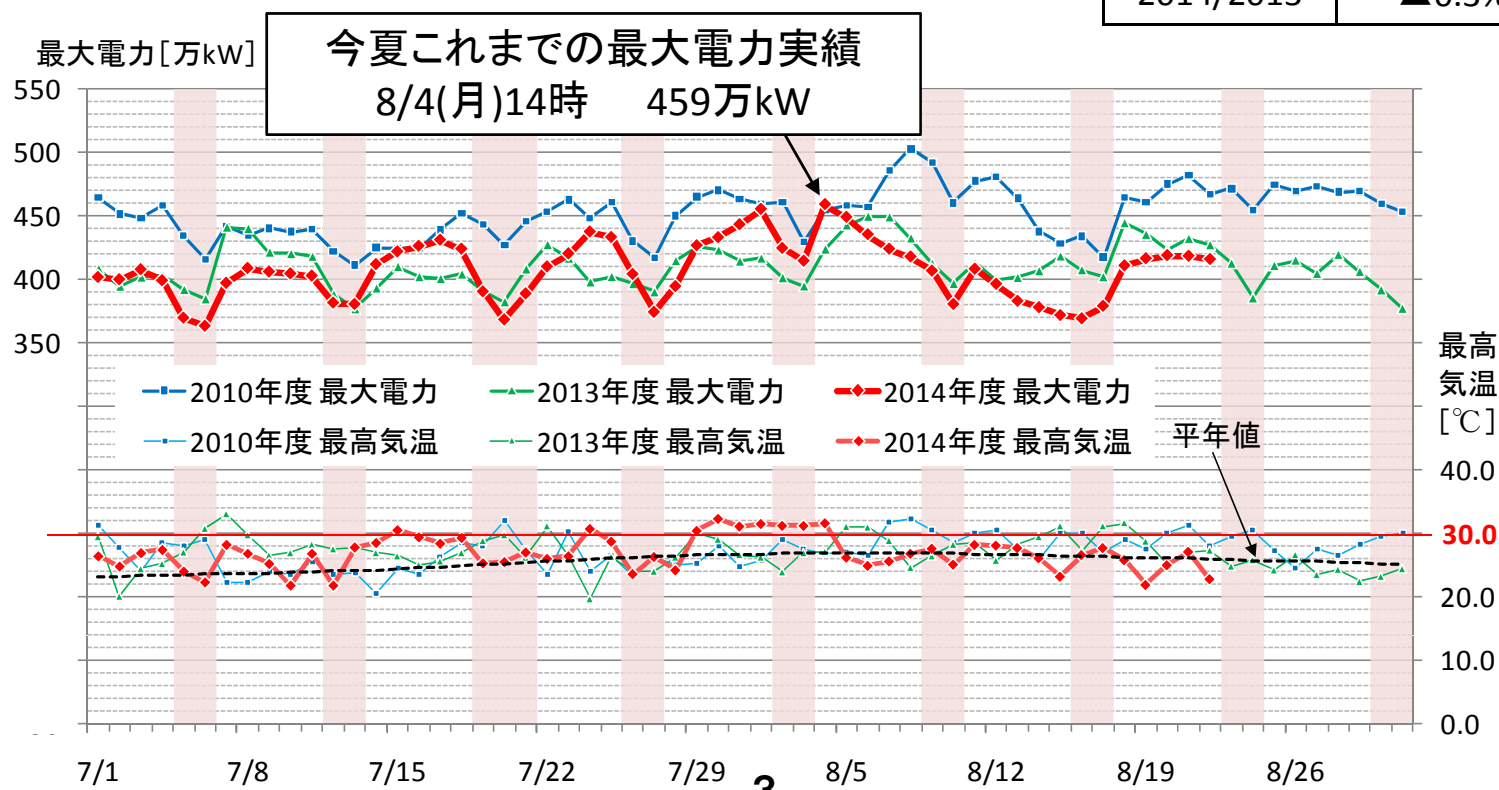


### 3. これまでの電力需要実績

- 7月1日から8月22日までの期間における平日の最大電力の平均は、2013年度と比較すると0.3%程度減少しています。
- 7月の終わりから8月初旬にかけて、最高気温が30℃を超える日が続いたことから、最大電力が459万kWとなり、2013年度の夏季最大電力450万kWを上回りました。

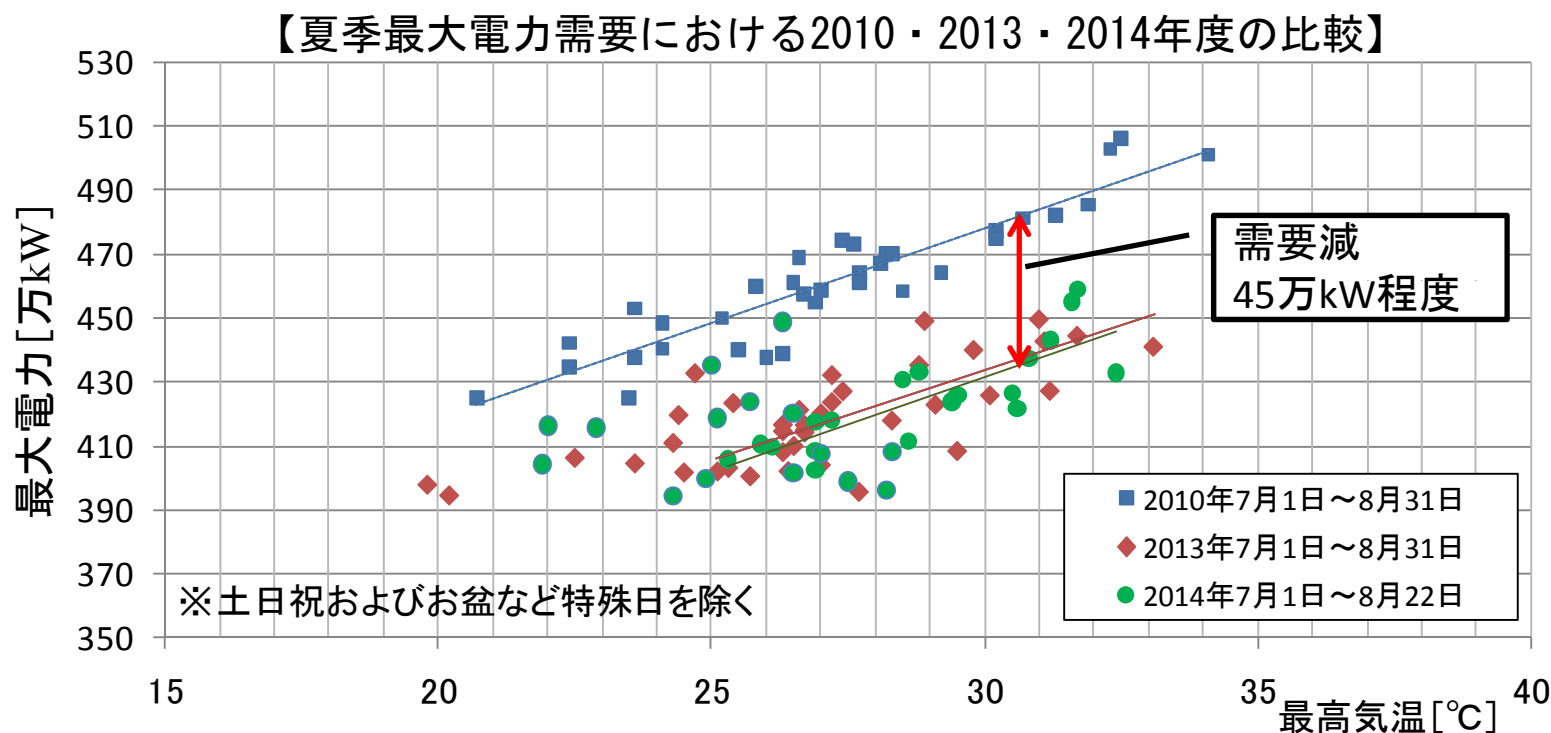
[万kW]

年度	平日最大電力平均 (7/1~8/22)
2010	456.4
2013	420.2
2014	418.9
2014/2010	▲8.2%
2014/2013	▲0.3%



## 4. 電力需要における気温影響

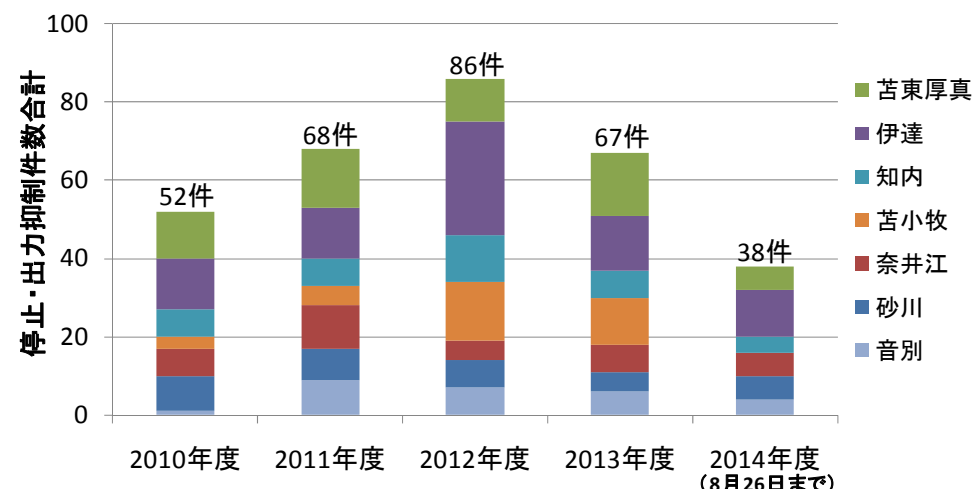
- 今夏と2010年度および2013年度の平日の最大電力について、気温影響を考慮して比較した場合、景気による影響等は含まれるものの、2010年度実績との比較では平均で45万kW（9.4％）程度、2013年度実績との比較では2万kW（0.6％）程度の需要減となっております。  
お客さまのご協力により、2013年度と同程度の節電効果が現れているものと考えております。



## 5. 火力発電所の運転状況

- ・ 当社の火力発電所は、安定供給確保が可能な範囲で設備点検・補修を実施する計画としています。
- ・ しかし、今夏も計画外停止や計画外出力抑制が発生しており、予断を許さない状況となっております。

【計画外停止・出力抑制発生件数】



注：緊急設置電源を除く。2014年度は8月26日までの実績

【今夏の主な計画外停止や計画外出力制約一覧】

発電所名	出力 (万kW)	燃料種	発生日	復旧日	原因
伊達2号	35	重油	7月11日	7月12日	復水器への海水漏れ込みによる出力抑制 (上限17.5万kW)
			8月20日	8月23日	ボイラー蒸気ドラムマンホールからの蒸気漏洩による停止
奈井江1号	17.5	石炭	6月18日	7月11日	ボイラー蒸気漏洩による点検作業のため停止
奈井江2号	17.5	石炭	7月8日	7月9日	微粉炭供給機の不具合が確認されたことによる出力抑制 (上限15.5万kW)
			7月25日	7月26日	
砂川3号	12.5	石炭	8月1日	8月10日	軽油配管からの軽油漏洩による定期点検の延長 (予定では7月31日定期点検終了)
			8月11日	8月12日	復水器付属弁の動作不良を発端とする自動停止
砂川4号	12.5	石炭	8月25日	未定	タービン付属配管からの蒸気漏洩による停止
苫東厚真1号	35	石炭	8月13日	8月14日	軸受冷却水冷却器内部清掃作業 (上限10.5万kW程度)

## 6. 供給予備力の推移

- 今夏は、現時点で苫東厚真4号機（定格出力70万kW）などの大規模な火力発電機の計画外停止トラブルはなく、安定供給に最低限必要な3%の供給予備率は確保できている状況です。
- しかしながら、電力需要の増加に伴い、供給予備力が50万kW程度まで低下した日もあり、当社最大の火力発電機である苫東厚真発電所4号機が計画外停止した場合には、北本連系設備からの受電が必要な状況でした。

